

## 2019 年度事業報告書

### 1. 事業活動報告

アソシエの理念「子どもを真ん中においた人のつながりが多様にある社会を当たり前」は常にアソシエの活動の根っこにあります。2019 年度は「やってみようと思う人が活動できる組織づくり」をさらに進め、3 つの「ラボ」を展開し（防災、子育て、農）、一人一人の市民が社会の問題に気づき、地域社会の課題解決に自らに関わるような大人をおおぜいにするための学びの場所をたくさん作る活動を進めてきました。

2018 年度から始めた「ラボ」はラボラトリー（laboratory）から名付けました。共通の興味関心のテーマで会員が集い、自らの持っているスキルやネットワークを活用し、新しい事業を仲間と一緒に企画しています。2019 年度は新しいテーマ「食」でラボが動き始めました。思いを持って実際に行動する会員がたくさんいることがアソシエの強みです。会員のプラットフォーム機能としてのアソシエの価値を強めることが、アソシエの持続可能性につながるのではないかと確認できた 1 年でもありました。

### 2. 事業内容

#### (1) つながりづくり事業

##### ① おるた家族食堂

ご飯を一緒に作り、一緒に食べることで、親子それぞれが楽しく過ごすことのできる居場所を提供してきました。運営は、昨年を引き続き、アソシエの会員とおるた家族食堂に賛同する地域の市民による「おるたダイナース」が担っています。おるた家族食堂立ち上げ時のメンバーが抜けたこともあり、会員数は昨年より減って 10 人ですが、お試し参加がのべ 13 組となっていて、おるた家族食堂を必要と思って自ら参加してくれる人が増えていることは手ごたえです。会員からダイナースメンバーも募ることができ、運営する側の主体も広がりました。会場費は生活クラブ生協の協力を頂き免除になっています。

##### ■2019 年度活動実績

開催回数	9 回（10 回企画したが、最終回 2020 年 3 月はコロナウィルスのため中止）
参加人数	のべ 112 人（平均 14 人）
会員数	15 組

【日時】年 9 回

【場所】横浜市港北区新横浜

【従事者人数】10 人（理事、おるた家族食堂会員）

【受益対象者】一般市民

【支出額】49,316 円

##### ② 農ある暮らしづくり

市民が作る市民の農園、畑を真ん中にした多世代が集うコミュニティづくりをめざし、プロジェクトでの検討を継続しました。港北区、都筑区を候補とし、横浜市環境創造局北部農政事務所の

アドバイスもいただきながら地道に農家さん探しを続けています。ネットワークづくりと農をテーマにした市民の対話の場づくりとして「農ラボ」を第2金曜日の夜に継続して開催しました。SNS（Facebook）の広報だけの集客ですが、毎回、10人ほどの参加があり、市民の農への関心の高さを感じます。参加者の中から次回の語り手をお願いするリレー形式で多彩なゲストスピーカーの参加協力を得ました。

■2019年度活動実績

市民農園づくりPJ	プロジェクトミーティング、地権者（農家）探し、横浜環境創造局北部農政事務所訪問
農ラボ	6月から毎月第2金曜日19時～20時50分、オルタ館で開催。 ゲストスピーカーと参加人数 6/14 中沢有紀さん：有々畑（農薬を使わず有機肥料で野菜を栽培）16人 7/12 山口大地さん：横浜国立大学アグリッジプロジェクト 10人 9/13 野々川尚さん：アグリビジネスコンサルタント 6人 10/11 風間理沙さん：エディブルスクールヤード 9人 11/8 西村ユタカさん：半農×コミュニティ「有機農業の可能性と限界」 7人 1/10 井上恵介さん：陶芸家「土物の器も固定種野菜も共に土づくりから」9人 2/14 國光博敏さん：料理家「調理人から見る農とは」9人

【日時】年間、農ラボは月1回

【場所】横浜市港北区新横浜

【従事者人数】3人（理事、事務局）

【受益対象者】一般市民

【支出額】129,736円

(2) 人づくり事業

① 防災減災

「子ども目線の防災を考えるチーム」を継続し、「防災減災らぼ」「災害時に子どもを守ろう（防災減災講座）」「なつやすみ親子でぼうさい」の3つの講座を企画運営しました。港北区社会福祉協議会「ふれあい助成金」を活用しています。

「防災減災らぼ」は上期、下期、それぞれに毎回テーマを変え、様々な切り口で防災を学んでいます。平均12人くらいの参加がありますが、ほとんどは直接の声かけと生活クラブ生協からの参加です。講師からの講義にとどまらず、トークタイムで参加者同士の学び合いもできるため、じっくり話せることで参加者の満足度は高いです。「災害時に子どもを守ろう」はアソシエの講師によるコラボ企画で半日のプログラムに5つの講座のある盛りだくさんの企画です。評価は高いですが、一つ一つの講座は簡略版になってしまうので、持ってもらった防災への関心を次につなげたいところです。「なつやすみ親子でぼうさい」はマップづくり、ポリ袋調理、どちらのプログラムも夏休みの親子企画としてとても好評でした。3つの防災講座はどれも講座内容への評価は高いですが、参加者を集めることは課題になっています。3年目になりチームのメンバーが固定化、減少傾向にあるので、次年度はメンバーを拡げ、らぼの実践をモデルとして、地域の団体や行政と

連携や協働を作っていけないか、次の展開をさぐっていきます。

■2019年度活動実績

<p>防災減災らぼ</p>	<p><b>【上期】</b>            5/14 「災害時の子どもの心のケアを学ぶ」 参加 15 人            講師：公益財団法人セーブ・ザ・チルドレンジャパン認定講師            6/18 「子どもの命を守る～教育現場の備え」 参加 16 人            講師：星野愉さん（NPO 法人コドモ・ワカモノまち ing 代表）            7/10 「ローリングストック料理ワークショップ」 参加 8 人            講師：アソシエ減災ガールズ  <b>【下期】</b>            10/7 「HUG を使った防災モチベーション UP ワorkshop」 参加 6 人            講師：横山たまきさん（NPO 法人スキルポート所属）            11/5 「一番大切な備え～生き延びるための住まいの防災対策」 参加 10 人            講師：山岸美佳さん（オルタスクエア㈱所属 一級建築士）            12/2 「災害時に乳幼児を連れたママ・プレママを守る」 参加 13 人            講師：吉田穂波さん（産婦人科医）            1/21 「災害時のトイレ事情と備え」 参加 15 人            講師：松本彰人さん（NPO 法人日本トレイ研究所 研究員）</p>
<p>災害時に子どもを守ろう</p>	<p>防災の基本、ストレス軽減レクリエーション、お片付け、スカーフ、ポリ袋調理の 5 人の講師のコラボ企画。            9/27 参加者 5 人            3/2 新型コロナウイルスの感染拡大を受け中止</p>
<p>なつやすみ親子でぼうさい</p>	<p>7/29 「ぼうさいマップを作ろう！」 参加 2 組            8/5 「パッククッキングでごはんを作ろう！」 参加 8 組</p>

【日時】年間

【場所】横浜市港北区新横浜

【従事者人数】7 人（理事、会員）

【受益対象者】一般市民

【支出額】361,052 円

② 子育て

産前産後の子育て支援にかかわる人たちの学びの場とネットワークづくりを目的として「子育て LABO」を企画しました。毎回、専門分野の講師による講座に続き、参加者による座談会の構成で、研鑽とともに現場の知恵や情報を持ち寄り、持ち帰れる場になっています。講師と受講者、受講者同士に今後につながるような出会いもあり、年度当初に構想していた港北区内のネットワークより、もっと広い地域、広い分野での出会いとつながりづくりになっています。子育て当事者向けの講座やイベントは多いけれど、子育て支援者を対象とした企画は少なく、焦点をそこにあてたことは評価されました。企画運営を担った「子育て LABO チーム」は、子育て支援にかかわるアソシエの会員が 9 人参加しています。この活動に参加するために新規に会員になってくれた方も 4

人いました。「港北区地域のチカラ応援事業助成金」を活用しました。

育休後復帰セミナーは復職に対して漠然とした不安を抱えるママのサポート企画として、2019年度に新規講師登録した団体を講師に3回開催しました。少人数のセミナーなので、具体的に自分の悩みを相談しあえる組み立てが好評です。次年度は講師が主体的に開催する形を構想します。

■2019年度活動実績

子育て LABO	<p>第1回「行政の子育て支援策と地域子育て支援拠点の事業」14人 講師：原美紀さん（港北区子育て支援拠点どろっぷ）</p> <p>第2回「産前産後支援で求められていること」10人 講師：棒田明子さん（MP0 法人孫育てニッポン理事長）</p> <p>第3回「子どもの発達と自然あそび」18人 講師：高橋良寿さん（五感教育研究所）</p> <p>第4回「産休後の復職事情」8人 講師：山口理栄さん（育休後コンサルタント®）</p> <p>第5回「まち保育のススメ～まちで育つことはまちが育つこと～」11人 講師：三輪律江さん（横浜市立大学院都市研究科）</p>
育休後復帰 セミナー	<p>第1回 10/27 申し込み3組</p> <p>第2回 1/26 申し込み4組（1組キャンセル）</p> <p>第3回 3/22 申し込み2組</p>

【日時】年間

【場所】横浜市港北区新横浜

【従事者人数】9人（理事、会員）

【受益対象者】一般市民

【支出額】264,607円

③ 自然あそびインストラクター養成講座

年度方針に沿って、春・夏・秋・冬の四季の3回連続講座を企画運営しました。インストラクター認定は4名でした。2015年下期から始めた講座ですが、ねらいや今後のビジョンが不鮮明になってきていました。一方で、自然の中で遊ぶことが子どもの発達に重要だと感じる人、教育現場でこの学びを活用したい人等のニーズで受講生も増えている中、理事会でこの間の事業を振り返り、今後の方針を中期的な事業計画含めて検討しました。自然あそびそのものに関心のある人の参加も広げるため、名称は自然あそび塾とすることや、一方で、自身の活動をもっと展開したい意志ある人向けに、四季の講座を修了+特別講座の受講を以てインストラクターに認定する制度に変えていくこと、インストラクターマスター制度も作っていく方向性を確認しました。

■2019年度活動実績

自然あそび インストラ クター養成 講座	【春】	第1回 3/15	第2回 4/12	第3回 5/17
	【夏】	第1回 6/14	第2回 7/12	第3回 8/2
	【秋】	第1回 9/20	第2回 10/18	第3回 11/15
	【冬】	第1回 12/13	第2回 1/17	第3回 2/14

【日時】年間

- 【場所】四季の森公園など  
 【従事者人数】2人（理事、会員）  
 【受益対象者】一般市民  
 【支出額】68,940円

④ 講師派遣・講座開催事業

地域からの講師派遣依頼は、この間、つながりのできた神奈川区の消防署からの依頼、アソシエのHPを見ての問い合わせからの依頼、エコロ講座に参加した組合員が地域の活動に活用してもらった依頼がそれぞれ数件ずつあります。「生活クラブ拡大出張講座」は19件の依頼がありました。生活クラブの組合員拡大をサポートする企画ですが、毎回、新規の組合員加入があり、主催者の目的に沿った講座を提供できていることから、年々、依頼も増えています。アソシエ主催の講座は「らぼ」の広がりにより、開催数が増えています。

生活クラブ生協が主催する「復興支援まつり」の実行委員会に参加し、まつり当日は、自然あそびとソーラークッキングの講師が参加して、講座を提供しました。オルタ館フェスタには5企画7人の講師が参加して、フェスタを盛り上げました。

■2019年度活動実績

講師派遣	29 企画
生活クラブ拡大出張講座	19 企画
アソシエ主催の講座	防災 11 企画（うち 1 企画中止）、農 7 企画、子育て 5 企画、自然あそび 12 企画、育休後復帰セミナー 3 企画
オルタ館フェスタ	フェイクスイーツづくり、布ナプキンづくりワークショップ、My オリジナル石けんねんど、薬膳カフェ&お好みのヨガ体験、仕事と子育て両立お悩み何でも相談会

- 【日時】年間  
 【場所】神奈川県内  
 【従事者人数】アソシエ登録講師  
 【受益対象者】一般市民  
 【支出額】424,935円

(3) 地域の市民活動サポート事業

① 市民活動に関する事務代行事業

事務所を持たない市民事業活動家の会員の郵便物の預かりや、活動に必要なグッズの預かり、企画の参加申し込みを通じて市民活動をサポートしました。

- 【日時】年間  
 【場所】横浜市港北区新横浜  
 【従事者人数】3人（事務局）  
 【受益対象者】アソシエ会員  
 【支出額】なし

② 市民活動に関する相談、サポート事業

・アソシエの資源（人、情報）を活用した「相談事業」に取り組み始めました。地域で何か始めたい、動き出したけどこの先どうしたらいいか、そんな困りごとを受け止め、一緒に考えます。まずは会員から、次に地域へと広がっていきます。

・生活クラブ生協からの受託事業として、農園サポーター、コミュニティ調査、セミナーの受付等を担いました。生活クラブの活動を理解した丁寧な業務が評価されています。

・生活クラブ生協の組合員活動「エコロ講座」に講師を派遣しています。講座内容はもとより、主催者に寄り添った丁寧なコーディネートが評価され、申し込み件数としては 533 件と過去最高となりました（前年度比 110%）。実施数は、2020 年 3 月に新型コロナウイルス感染拡大で講座キャンセルが相次ぎ、496 件となりました。単発のエコロ講座だけでなく、デポの 3 Days の企画や地域生協のイベントでの活用にも、ニーズに沿った講座を組み合わせる提案することができており、生活クラブのコモンズやデポの担当者から喜ばれています。

（例）

- ◆5/23～25 たかつデポ 3日連続の試食フェス「砂糖を使わないおやつ」
- ◆6/20～22 たかつデポ 3日連続の試食フェス「発酵食品・菌活」
- ◆12/12 横浜みなみ たすけあい委員会感謝祭
- ◆1/29 横浜北生活クラブ 理事研修 「サスティナブル（四万十川バック、サルベージ）」
- ◆2/2, 17, 20 磯子コモンズ 組合員集会「防災減災～コミュニティづくりに向けて」
- ・かわさき生活クラブで開催されたエコロ講座プレゼンテーションに参加し、アソシエのエコロ講座をアピールしました（4/19）。横浜北生活クラブ主催の企画にも参加し（5/17）エコロひろば向けの親子料理教室を紹介し、その後の講座の申し込みにつながっています。
- ・組合員活動に寄与できるように、生活クラブの活動を理解して参加するための講師向けの研修も実施しています。今年度は「防災減災コミュニティ」について行いました。

■2019 年度活動実績

相談事業	実績 3 件
生活クラブ受託事業	生活クラブみんなの農園サポーター、コミュニティ調査、生活クラブセミナー受付
生活クラブエコロ講座講師派遣	食：183 件（うち 9 件キャンセル）参加 2869 人 生活文化：350 件（うち 28 件キャンセル）参加 3647 人

【日時】年間

【場所】神奈川県内

【従事者人数】アソシエ登録講師、事務局

【受益対象者】生活クラブ生協組合員、一般市民

【支出額】874,472 円